

中期ビジョン(5か年計画、H28年度～R2年度)

本校が目指す5年後の姿(具体的な目標)

1 学校の現状や課題

働きながら学ぶことや学び直しを希望する生徒の学習ニーズに応える学校として様々な教育活動に取り組んでいる。

4年間で卒業できる夜間定時制(17:15～20:35)であるが、午後の授業(15:30～17:05)による3年間で卒業できる三修制も実施している。

在籍生徒数は減少傾向にあるが、様々な事情で本校に在籍している生徒に学ぶ力、生きる力を身に付けさせ、社会的・職業的に自立できるような指導体制の充実が求められている。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

ここ由利本荘市やにかほ市の生徒数は緩やかであるが減少傾向にあり、本校定時制課程に在籍する生徒数も減少しつつある。しかしながら、変化の激しい時代をたくましく生き抜く力を育成し、多様な学習ニーズに応える場としての本校定時制課程の役割は重要である。

3 目指す方向性や学校像

働きながら学ぶ場や学び直しの機会を提供するなど、多様な学習ニーズに応えるとともに、生きる力の基盤となる「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視し、社会的・職業的自立に必要な資質・能力を育成する。

(1) 教育方針

- ①未来を切り拓く人間力を高め、社会に貢献する人材を育成する。
- ②高い志をもち自己実現を果たそうとする姿勢を育成する。
- ③社会と関わりながら学ぶ「働学一体」の精神を涵養する。

(2) 重点目標

- ①自主自律の精神を伸ばしながら、心豊かにたくましく生きる生徒を育成する。
- ②キャリア教育を通して社会的自立に必要な資質や能力を育成する。

4 5年間で達成を目指す具体的な目標

(1) 社会的自立に必要な資質・能力を身に付けた生徒を育む。

- ①主体的に学ぶ生徒、学びに向かう力の育成
- ②基礎学力の定着

(2) 志高く、自主自律の下、心豊かにたくましく生きる生徒を育む。

- ①「働学一体」の推進
- ②自立的・自律的行動への支援
- ③校標「右文尚武」(文と武の両方を重んじ、兼ね備えること)、「質実剛健」(飾り気なくまじめで、強く健やかなこと)、「玲瓏同氣」(金属や玉などが美しい冴えた音を奏でるよう優れた者同士が切磋琢磨してともに人格を高めあうこと)の具現化

(3) 豊かな感性や創造性に満ちた、心身の調和のとれた生徒を育む。

- ①豊かな人間性を育む教育活動
- ②心の居場所となる学校づくり
- ③保護者、地域社会等との連携・協働

5 具体的な取組等

1 「本荘高校生徒憲章」を涵養し、たくましく生きる生徒を育成する。

- 一、私たちは右文尚武の志を立て目標達成に全力を尽くします
- 一、私たちは友情を深め誰からも信頼される誠実な心を養います
- 一、私たちは自由を尊び自分の言動に責任を持ちます
- 一、私たちは本高生であることを自覚して規律を守り郷土の期待に応えます
- 一、私たちは地球社会の未来を語り合い人類共通の課題に取り組みます

- ・自尊感情や自己有用感の醸成
- ・他者への思いやり、規範意識を身に付けた生徒の育成
- ・ソーシャルスキル、コミュニケーション能力の育成
- ・学校行事や部活動等にも積極的に取り組む生徒の育成

2 授業改善に努め、生徒の学力向上を目指す。

- ・主体的・対話的で深い学びによる、確かな学力の育成
- ・思考力・表現力・判断力等の養成による「問い」を発する生徒の育成
- ・生徒一人一人の学びへの支援

3 基本的生活習慣を確立させ、将来に向けて進路指導を充実させる。

- ・集団生活の約束を守ることのできる生徒の育成
- ・課題を共有し、励まし支える支援の強化
- ・各種検定や資格試験の資格取得に向けた支援の充実
- ・自ら未来を切り開く姿勢の育成

4 地域や家庭と連携を図りながらキャリア教育を充実させる。

- ・インターンシップ、ボランティア活動等の推進
- ・アルバイト等の奨励による社会貢献に対する関心の喚起
- ・ハローワーク、職場定着支援員等との連携による将来に対する意識の向上
- ・PTA、教育振興会等、学校関係機関との連携・協働による地域資源の活用